

新潟ビジネス専門学校

学校自己評価報告書
(平成30年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか

- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

起業を担える創造性豊かな人材と、企業・医療機関が求めるスペシャリストを育成・輩出することで、地域社会・国家・国際社会の発展に寄与する

【教育目標】

実学教育の徹底：企業（企業経営者含む）、病院との産学連携教育を推進することで、インターンシップや病院実習を通して、よりリアルな職業教育を徹底する。

人間教育の実践：誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する。

専門教育の高度化：ビジネス分野における高度な資格及び検定を取得すると同時に、業界の一流を見聞・体験することで自らの専門性を高度化させる。

世界視野を持った学生を輩出する：世界視野を持った起業家とスペシャリストを輩出する。

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 実践力を高めるために、病院や企業と連携した病院実習やインターンシップを全学科にて行っている。
 - ・ 難易度の高い検定コンペにチャレンジすることで自らの可能性を追求できる人材を育成している。（医療秘書技能認定試験1級、MO S世界学生大会、秘書検定1級等）
 - ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
 - ・ 国際的な視野を養うため、海外研修を必修化している。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。また、保護者に対しては保護者会にて同じく「学生の手引き」を配布しており、欠席者に対しては送付し徹底して周知を図っている

- 当校では社会のニーズに柔軟に対応するため、複数の経済団体や各種協会に加盟し、最新の情報を入手することで、今後の社会のニーズを踏まえた学科編成、カリキュラム編成、教育活動の見直しを行っている。
- 社会のニーズへの柔軟な対応として、2年制学科すべてで教育課程編成委員会を設置し、業界関係者等の外部委員から意見を取り込み、毎年、教育内容の見直しを図っている。
- 業界・企業との協力体制の強化として、デュアル教育の推進を図る。

(3) 課題と改善策

- さらなるグローバル教育の充実を目的とした海外の教育機関・企業等との連携の推進を図る。

2. 学校運営

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 現状

- 運営方針は年度初めにビジョンシートに明記され、全体職員会にて全教職員・非常勤教員に至るすべてのスタッフに周知されている。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意思決定がなされている。
- 校内においては校運営会議、全体職員会を定期的に開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意思決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- コンプライアンス体制として、法令、社会規範の遵守の意識向上のため、職員にビジネス

コンプライアンス検定の資格取得支援などの社内教育を推進している。

- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。また、業務複雑化に伴いシステムの入替・改修を随時行っている。
- 教育活動等の情報公開として、ホームページや広報物の他、SNSでの情報発信を積極的に行っている。それに伴い、24 時間 365 日の情報発信・公開が可能になり、労務管理上の諸規定も整備。

(3) 課題と改善策

- SNSなど多種多様なツールでの情報公開・発信ができるようになった一方で、毎年のようにその種類は増え続けるため、十分な効果測定とセグメントを行う必要がある。

3. 教育活動

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科主任を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。

- 実践的な職業教育として、病院、医療機関、一般企業と連携したインターンシップ等の職業実践型授業を全ての学科で行っている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、専任教員は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会への参加等を奨励している。また定期的に全スタッフで教務研究会を実施しており計画的に教職員の能力開発についてケアしている。

(3) 課題と改善策

- 業界等との連携における関係分野の知見に優れた教員（講師）確保や教員研修等を推進し、質の高い職業教育に努める。
- 新しい教育分野の教員（講師）確保は業界連携だけでは確保は難しく、独自ルートの開拓が課題である。

4. 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 現状

- 就職部長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界で活躍する複数の卒業生を学科別に召喚し、パネルディスカッション形式で行う討論会を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。
- 基礎学力の低下に対する取り組みとして、就職試験を想定した基礎演習を実施。こちらは学力レベル別のクラスとし、演習問題もクラス別に作りきめ細かい指導がなされている。

さらに、目標意識を高めるべく、社会常識分野の検定取得を1年次にて必修化した。

- 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については、月例の全体職員会で学科主任からの報告により把握、共有される。また、学科主任による学科運営に併せて、クラス担任を設置しており、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施し、退学率の低減に努めている。
- 退学率の低減を図る目的として、科学的、客観的なデータ分析による適性検査を実施し、学生の潜在的な悩みや不安等の対応に活用した。
- 産業カウンセラーと契約し、精神的に不安定な学生や問題を抱える学生のケアを行っている。
- 卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。校友会では各学年より1名の実行委員が選出され、名簿の作成や同窓会等の校友会活動が実施されている。
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握について、卒業生は内定企業を通しての定期的なヒアリングと、本人の学校訪問時のヒアリングにて、企業側・本人の両面から把握に努めている。在校生はインターンシップや企業連携実習を通して業界関係者からの評価をいただき、その後の学校教育に活かしている。
- 卒業生の内定先と連携し、就職活動を始める在校生と卒業生との懇談会を開催した。約20社の企業を招聘し、在校生の在籍確認が行えるとともに、在校生の就職における不安を解消する良い機会となった。

(3) 課題と改善策

- すべての業界・企業に対しての卒業生・在校生のキャリア形成への効果の把握を行うべく、就職部が中心となり、組織的かつ継続的に把握が行われるような仕組みづくりが必要で、これには数年の検証が必要となる。

5. 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(2) 現状

- 進路・就職相談についてはクラス担任、就職部が連携し、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、毎週1回合同の就職面接会を開催しており、面接指導体制とレベル別・分野別に弱点克服指導体制を確立している。
- 一般社団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。さらに学費サポートセンターを設置し、専門スタッフを配置している。また、1人暮らし者向けの支援制度を設け、遠方からの進学者へのサポートを充実させた。
- 学生の健康管理は、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。
- 課外活動については、他団体が行っているボランティア情報を収集し情報提供を行い、参加を促しており、進級・卒業時の必須参加ポイントを導入している。また、にいがた総踊りやサークル活動などの活動費や道具等の支援を積極的に行っている。
- 学生の生活環境支援として、学生寮、アパート物件等の紹介制度があり、入学前に見学会も実施している。学校から徒歩10分圏内に男女それぞれの学生寮がある。
- 年1回(4月)の新入生保護者会、年3回(いずれか1回参加)の就職保護者会を開催している。希望者にはクラス担任と個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。合わせて年3回学校新聞を作成し、保護者に情報を提供している。また、年2回の授業参観週を設け、普段の学生の様子、授業の様子を公開している。
- 卒業生に対しては校友会を通じて学校の各種情報を提供している。
- 社会人の入学希望者に対応するために、社会人特待入試制度を設けており、受け入れ態勢を整えるとともに、各種奨学金制度を整備している。また、厚生労働大臣指定の専門実践教育訓練指定講座の認定を受け、社会人の入学希望者への支援体制を充実させた。

(3) 課題と改善策

- 卒業生への支援では校友会との連携強化を中心に、支援体制をさらに構築していく。具体的には学び直しに関する情報提供や、中途採用求人等の公開を就職部にて実施し、卒業生からの要望などもヒアリングしながら、必要な支援策の検討・構築を進める。

6. 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 現状

- 校内に病院の受付を模した「病院実習室」、歯科医院を模した「歯科実習室」、調剤薬局を模した「調剤実習室」、ファッションショップを模した「販売実習室」、メイク・ネイルを学ぶ専用室「ビューティルーム」、オフィスを模した「オフィスルーム」、ウィンドウズP Cルームが2部屋、Macルームを1部屋完備し、より実践的かつ専門的な授業を提供できる体制を取っている。
- 法人が所有する研修施設において、新入生向けのコミュニケーション研修、就職研修、検定対策合宿を実施している。
- 当校では教育目標の達成のために、インターンシップ、海外研修を実施しており、ともに受入先と連携して研修が進められるよう教育体制が整備されている。
- 避難訓練はもちろんのこと、学生一人一人が防災グッズを所持している。
- 全職員対象にAED講習を実施しており、緊急時の対応に備えている。
- 動画教材の導入等によるインターネット環境として、全館Wi-Fiを完備している。

(3) 課題と改善策

特になし

7. 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。TwitterやLINE等、高校生の使用頻度が高いツールによる告知を強化し、月に2回以上の頻度でオープンキャンパスを開催している。オープンキャンパスではプログラムを工夫し、学校・学科説明だけでなく、体験実習や授業体験を実施する等して当校に対す

る理解を深めてもらっている。その他、教職員による県内外高校訪問等による学生募集活動も実施している。

- 中学生向けの職業教育事業や、高校との連携教育事業にも積極的に参加している。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。
- 年に4回の高等学校訪問により、資格取得状況、就職内定状況などの情報を随時報告し、進路指導に役立ててもらうとともに、高校卒業後の学生状況を共有し、学生指導の協力体制を構築している。
- 留学生の受け入れに当たって、首都圏の日本語学校への定期訪問と、入学までの密な連携により、住まい、アルバイトなどの生活における支援・管理により、全員が適正に留学ビザの更新を行っている。

(3) 課題と改善策

留学生の入学後の生活管理においては、アルバイト先、アパート先等と協力体制を構築して、学校外での管理体制の強化を推進する。

8. 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 現状

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 課題と改善策

- 現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていきたい。

(4) 特記事項

- 学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

9. 法令遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部が窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

(3) 課題と改善策

特になし。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 現状

- 地域の中学校の総合学習に積極的に協力している。当校の教育資源を活用した職業体験や上級学校研究に寄与している。
- 学校行事（学園祭）や、新潟県専修学校各種協会主催のイベントに参加し、中学生・高校生の職業体験の場を広く提供している。
- 社会貢献・地域貢献については、全学生が年間 3 回地域のごみ拾いを行っているほか、「明和義人祭」、「にいがた総おどり」出演やボランティアスタッフとして参加している。

- 新潟県立新潟テクノスクール公共職業訓練委託事業を受託しており、当校の持つ教育コンテンツを可能な限り地域に提供している。

(3) 課題と改善策
特になし。